

最終更新日 H25.3.1
改修技術 No. 11111201

性能分野	耐久性・耐用性
大分類	劣化部分の補修、外力の緩和
中分類	ひび割れ補修
技術の名称	コンクリートのひび割れ補修（被覆工法（シール工法））

<p>改修技術の概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ひび割れ補修は、ひび割れによるコンクリート構造物の耐久性や防水性などの性能の低下を回復させるために行われる。 被覆工法（シール工法）は、ひび割れにエポキシ樹脂や塗膜弾性防水材で被覆する工法で、0.2mm 未満の軽微な収縮ひび割れを対象としたひび割れ補修工法である。ひび割れ部の挙動の有無や水分の有無などを考慮して、使用する材料を選ぶ必要がある。 シール材（被覆材） <ul style="list-style-type: none"> <改修標準仕様書等> 挙動なし：パテ状エポキシ樹脂 挙動あり：可とう性エポキシ樹脂 <JCI ひび割れ指針> 挙動なし：塗膜弾性防水材、ポリマーセメントモルタル 挙動あり：塗膜弾性防水材 <div style="text-align: center;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> 被着体が 5℃以下、または 50℃以上になる恐れがある場合は、材料の品質に影響が出るため、作業を中止する。 改修後の性能 防水性の向上（漏水の解消）、耐久性の向上 <div style="text-align: right;"> </div> <p style="text-align: right;">（出典：建築改修工事監理指針 平成22年版（財）建築保全センター）</p>
----------------	--

共同住宅のタイプごとの技術の適用	技術の種類	<input type="checkbox"/> 調査・診断技術 <input checked="" type="checkbox"/> 改修技術（ <input checked="" type="checkbox"/> 劣化を補修する技術 <input type="checkbox"/> 性能を向上させる技術）	
	共同住宅のタイプごとの適用可能性	S55年以前供給 中層階段室・壁式(総プロA1)	使われる可能性が相当ある
		S55年以前供給 高層・ラーメン(総プロA2)	使われる可能性が相当ある
		S56～H2年供給(総プロB)	使われる可能性が相当ある
		H3～12年供給(総プロC)	使われる可能性が相当ある
		H13年以降供給(総プロD)	使われる可能性が相当ある
(補足) —			
常にセットで利用される技術	<当技術を適用する前に実施する調査・診断技術> ひび割れ調査 (No. 21111101)		
技術が適用される建物の部位	<input checked="" type="checkbox"/> 共用部分 (<input checked="" type="checkbox"/> 躯体・外壁 <input type="checkbox"/> 屋根 <input type="checkbox"/> 建具 <input type="checkbox"/> 設備・配管等 <input type="checkbox"/> その他共用部) <input type="checkbox"/> 専有部分 (<input type="checkbox"/> 設備・配管 <input type="checkbox"/> その他専用部) { 設置・運営等で建築基準法以外に注意すべき主な法令がある設備 () <input type="checkbox"/> 注意すべき主な法令 () }		
団地で適用した場合のメリット	<input type="checkbox"/> 住棟まわりの土地が利用できること (仮設以外) () <input type="checkbox"/> まとまった土地が利用できること (仮設以外) () <input type="checkbox"/> 住宅の数が多く密度が高い () <input type="checkbox"/> 特定の設備があること ()		
足場の設置が必要	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不要 ()		
工事による居住者への影響	数日以上居住できない住戸が発生	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 ()	
	一時的な影響が発生	<input type="checkbox"/> 断水などライフラインが一時的に利用不可 <input type="checkbox"/> 振動 <input type="checkbox"/> 騒音 <input type="checkbox"/> 粉塵 <input type="checkbox"/> 臭気 <input type="checkbox"/> その他専有部分又は専用使用部分に対する制限 ()	
	工事後に続く影響が発生	<input type="checkbox"/> 専有部分又は専用使用部分の使用に対する制限 () <input type="checkbox"/> 日照・採光等への影響 ()	
当該技術が利用される工事	<input checked="" type="checkbox"/> 計画修繕工事（ <input checked="" type="checkbox"/> 劣化の補修 <input type="checkbox"/> 性能の向上） <input type="checkbox"/> 耐震改修工事（ <input type="checkbox"/> 耐震性の向上 <input type="checkbox"/> 他の性能の向上）		
技術的境界	—		
参考資料	技術情報	・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成22年版」（財）建築保全センター ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築改修工事監理指針 平成22年版」（財）建築保全センター	
	価格情報	・「マンション Re」（一財）経済調査会	